

医療介護ネットワーク協同組合

「外国人受入の管理団体に」

技能実習制度に向け

医療介護ネットワーク協同組合（東京都台東区）は5月16日、都内で「介護事業での外国人研修生の受入セミナー」を開催。同協会の木全雅夫代表理事が介護分野における「外国人技能実習制度」について説明したほか、この制度において同協会が介護分野での受入管理団体として準備を進めていることを報告した。



木全雅夫
代表理事長

れた。

木全理事長は、介護分野における外国人の受入について、2008年から始まったEPA（経済連携協定）による外国人

用意しなくてはいけない」、「技能実習制度に關しての問い合わせが非常に多く、関係者から関心が高いことがわかる。しかし、これまでにない試みのため、受入れ時に混乱が懸念されるため十分に準備を進めなくてはならない」と参加者に伝えた。

同協会は2008年より介護事業の従事者のスキルアップを図るため、介護保険制度や市場動向、事業計画書の作成などの経営実務概論などを学ぶ「介護施設管理士」認定試験を実施。現在、同協会では今年11月14日に実施する試験に向けた対策講座の受講者を募集している。

昨年6月、閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針」で、外国人研修生の就業期間および就労職種の拡大が盛り込まれた。これまで農業や建築などの職種に限定されていた「外国人技能実習制度」で新たに介護が対象職種として追加さ

された。昨年6月、閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針」で、外国人研修生の就業期間および就労職種の拡大が盛り込まれた。これまで農業や建築などの職種に限定されていた「外国人技能実習制度」で新たに介護が対象職種として追加さ

ら始まったEPA（経済連携協定）による外国人の受入れについて説明したほか、この技能実習制度の概要や実際に受け入れる際の手順などについて解説した。

「実習生は現場を踏むだけでは、国家試験をクリアするのは難しいだろう。専門的な研修などを」と話した。

参加費用は8640円。日時・会場は次の通り。東日本地区…10月3日、デンタルサポート会議室、西日本地区…10月17日、神戸ポートタワーホテル。申込み締切りは9月28日。